

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスゆとっち		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 9日		～ 令和8年 2月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33名	(回答者数) 25名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 9日		～ 令和8年 2月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・「集団支援」を意識することで、子ども同士が相互に影響し合い、個人の挑戦や成長に繋げていけること	活動の時間だけでなく、自由時間においても子ども同士で関わる時間を多く作ることでお互いを意識しやすいようにしています。また職員の手本だけに頼らず、「お友だちの様子を見て真似をする」「年上の子が年下の子をサポートする」「競い合う」などから子どもたちの自主性や意欲の向上を図っています。	そこに関わる全ての職員が「集団支援」について理解し、自ら率先してその中に溶け込むような振る舞いができるようになると良いと思います。
2	・人や物によって環境を整えていくことで、子どもたちが「見たい、聞きたい、やりたい」となるような状況を作り出し、いけること	ことばだけの指示伝達だけでなく、ホワイトボードにてスケジュールの提示、写真や絵カードを使っての情報提供などを積極的に取り入れ、子どもたち自ら情報収集しやすい環境を整えています。また「人も環境」と考えられるので、自身の振る舞いだけでなく「良き相談相手」になれるように、子どもたちとの「対話」を大切にしています。	意思伝達手段としてサインや手話、絵カードなどを使用するにあたり、個別に対応するためには幅広い知識と経験が必要になってきます。職員だけでなく子どもも巻き込んで一緒に学んでいければいいと思います。また職員自身が一つの意思伝達手段に拘らず、柔軟に対応していくことも重要だと考えています。
3	・送迎時の申し送りや電話やメール、面談などを通して保護者の皆様とお話をする機会をしっかりと作っていること	情報共有に関しては「スピード」が大切なので、保護者様からのご連絡に対しては迅速に対応するように心がけています。また質問や疑問などにもお時間をかけずにお答えできるように努めています。	昨年は職員の体調不良や人手不足、法人変更など様々なことが重なり、個別の面談ができなかった保護者様もいらっしゃいます。新年度からはしっかりと体制を整え、面談も定期的に行っていくように計画を立てていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・「人手不足」の状況が長く続いたこと、そこから職員の体調不良や離職に繋がってしまったこと	求人募集に対しての知識が乏しく、発信力が低かったように感じています。また「人手不足」の状況で職員が無理をしてしまったこともあり、かえって利用者の皆様にも迷惑をおかけしてしまったのも要因と考えられます。	新法人になり、求人募集に対してのアプローチの方法も変えていき、たくさんの方がゆとっちに興味を抱いてもらえるような発信や運営を心掛けていきたいと感じています。また職員育成についても余裕を持った勤務体制と「OJT(相棒システム)」による育成システムの確立をしていきたいと思っています。
2	・整理整頓がいきわたっていないこと	事業所内だけでなく、ガレージから下駄箱付近の入り口まで「物が多い」というところが大きな課題となっています。	物を減らしていくことと、物の置き場所や個数などを決めて整理整頓を行っていきたくと考えています。更に「外観」についても気を配り、利用者様や保護者の皆様の不安に繋がらないようにしていきます。
3	・安全計画や防災計画、緊急時の対応などの情報共有不足	事業所において安全計画やBCP(事業継続計画・災害、感染症対策)、防災計画など作成はされていますが、皆さまへの周知共有ができていませんでした。	まずは皆さまに向けてのお知らせやHPなどで共有していきたいと考えています。また事業所説明会や保護者会などでもお話をする機会を作っていきます。